

錦江町告示第2号

錦江町農業委員会の委員選任に関する規程第8条の規定により、錦江町農業委員会委員候補者の募集状況を以下のとおり公表いたします。

令和8年5月8日

錦江町長 新田 敏郎

○推薦を受けた者及び応募した者の数

推薦を受けた者 1名（うち認定農業者等 1名）

応募した者 13名（うち認定農業者等 11名）

○応募の状況

番号	氏名	性別	年齢	職業	公職歴		農業経営の状況		認定農業者等区分	応募の理由
					年月	公職名	作物・家畜等	耕作面積 頭羽数		
1	安水 純一	男	59	農業	H26.7～	農業委員	甘藷 大根 水稲	1300a 300a 100a	○	遊休農地が増加しているため、地主と農家とを結び遊休農地の発生防止・解消するため、農業委員として働きたいです。また、若い担い手の育成や経営支援をし、農業に魅力を感じられるようにしていきたい。
2	鍋 康博	男	75	農業 商業	H14.7～ H15.4～	農業委員 群馬県前土地改良区理事	果樹 菌芸	22a 10a	○	先般、田代支所へ出かけた際、ボードに人口1,600名弱と記されているのを見ました。ここには、生まれたばかりの赤ちゃんから、超高齢のお年寄りまで、また、地元には「不在」の方々まで含まれている数だと思います。町中であっても人を見かけなくなり、農村部へ行くとさらに限られた方々しか見かけない状態です。このような状況の中では、元気である方には、何らかの形で、そして可能な範囲でいいから、協力し、助け合わなければならないなど考えさせられました。今回、改選にあたり、今日まで長く農業委員をさせて頂いておりますが、今後も「農地の番人」として、この経験が無駄にせず、必要とされる地域の方々に、活用して頂くことが大事かと考えるところです。このような思いから、この度も応募することにいたしました。
3	寺田 郁哉	男	66	農業	H23.7～	農業委員	電照菊 水稲	90a 45a	○	農地の地権者の高齢化が進む中、担い手農業者の農地集積、流動化を図る事を考えた時、地域の農地の環境・立地条件等を良く知り得る農業委員が、地域密着型で進めていく必要があります。5期15年農業委員を務めさせて頂き、より強く感じています。農地の有効利用を考えた時、ますます進む高齢化、地域計画の目標地図製作等、農地パトロールによる耕作放棄地の解消等に取り組んで行きたいと考えます。錦江町農業は基より、錦江町発展のために農業委員の立場で寄与して行きたいと思っております。
4	鳥越 秀一	男	65	農業	H26.7～	農業委員	ピーマン レタス 夏秋ピーマン	53a 20a 17a	○	錦江町の農業の発展に貢献したいと考えています。また、若い担い手が育っていくような町にしていきたいと思っております。
5	安田 憲次	男	66	無職	R5.7～		水稲	28a		農業就労人口の減少、後継者不足等、農業行政をめぐる状況は、益々悪化の傾向にある。また、担い手農家の高齢化及び遊休農地の発生防止や解消並びに担い手農家への農地集積や新規就農者等の育成など農業委員の役割りは益々増大してくる。そんな中で委員として農地を未来へ引き継ぐため地域農業発展の一助になればと思志望しました。

番号	氏名	性別	年齢	職業	公職歴		農業経営の状況		認定 農業者等 区分	応募の理由
					年月	公職名	作物・家畜等	耕作面積 頭羽数		
6	本釜 好子	女	59	農業	H26.7～	農業委員	露地野菜 水稲 施設野菜	150a 30a 40a	○	地区の土地利用の在り方を優良農地の保全と農業生産を促進するため農用地の利用調整や担い手の育成を図っていききたい。また、行政と地域のパイプ役として、地域農業の発展を目指した農業委員経験者として活動に貢献したい。地元農業者の一人として尽力してまいりたいと思います。
7	内菌 雄治	男	52	農業	H29.7～ H28.4～R2.4 H30.4～H31.4	農業委員 神川地区公民館文化部長 神川小学校PTA会長	ブドウ イチゴ	160a	○	農業の代表として農業基本計画の実現に努め町民の期待と信頼に応えるようやっていきたい。町内の農地利用の最適化をめざし、担い手への農地利用の集積・集約化を進めていきたい。地域の人達とコミュニケーションを図り、情報の収集・提供に努めたい。遊休農地の発生防止解消に努める。タブレットを使い委員活動の効率化を図る。
8	宿利原 進	男	61	農業	H29.7～	農業委員	甘藷 加工用大根	280a 120a	○	農地利用の最適化をめざし、担い手、認定農業者などへの農地利用の集積、集約化など経営支援に努めたい。
9	宿利原 勝吉	男	76	農業	H8.7～ H24.7～	農業委員 農業委員会会長	甘藷 高菜	300a 120a	○	農地利用最適化推進委員、農地中間管理機構及び事業推進員と連携し、遊休農地の発生防止、解消の推進を行いたい。また、担い手への農地集積や新規就農を支援するための活動を行いたい。
10	畠中 正秋	男	73	農業	H23.7～H29.3 R2.7～R5.7 R5.7～	農業委員 農地利用最適化推進委員 農業委員	水稲	15a		農地利用最適化推進委員と協力して、認定農業者等への農地利用集積・集約化に努める。高齢化が進む中で、農業従事者が減り、荒廃遊休農地が増加してきている。耕作放棄地発生防止に努める。
11	貫見 和洋	男	72	農業	H14.7～	農業委員	ブロッコリー カボチャ 水稲	70a 40a 90a	○	川原地区の農業の発展及び農地利用の推進等の活動が必要であると思いますので応募いたします。
12	折小野 道男	男	65	農業	H29.9～	農地利用最適化推進委員	甘藷 里いも 水稲	300a 100a 200a	○	農業農村の代表として、期待と信頼をモットーとし、農業者への協力と情報を提供し、後継者を増やし、若者に農業の楽しさ、収穫の喜び、安定した生活をして欲しい。平成29年9月から農地利用最適化推進委員を務めてまいりましたが、地域の農業の状況や高齢化等を考えたときに、今回は農業委員に応募しようと思いました。
13	濱田 隆介	男	55	農業			ぶどう マンゴー 水稲	250a 20a 60a	○	同地区の農業委員の勇退に伴い、認定農業者、指導農業者としての経験を活かし、農地の集積・集約化や意欲ある担い手の育成を支援したい。また、高齢化に伴う農地管理の課題を解決するため、遊休農地の発生防止や有効活用を積極的に推進したい。
14	今熊 武朗	男	64	農業			パレイショ 枝物	6.4a 90.7a	○	(推薦理由) 今熊さんは、町役場職員を退職後、枝物(しきみ)及びパレイショの生産・販売を生業とする農業に取り組んでいます。また、役場在職が長かったことから、地域農業農家の事情にはある程度通じていることを考えて、今熊武朗さんを錦江町農業委員に推薦します。